

こあじ冊子

～Little Tern Project ボランティア通信～

Topic

お知らせ 観察会開催

コアシサシ観察日記

報告 2006年 営巣地整備作業の報告

報告 東京バードフェスティバル2006

お知らせ NPO法人化について



観 察 会 の お 知 ら せ

【日時】

6月25日(日)、7月1日(土) 10:00～13:00
7月8日(土) 10:00～12:00 / 13:00～15:00

【内容】

営巣地・干潟の観察、交流会
※7/2(土)は、一般の方からも募集するため、スケジュールが変わり、交流会はございません。
※交流会ではお菓子・飲み物をご用意いたします。

【対象】

- ・6月25日、7月1日は作業参加経験者のみ。7月8日は大田区報とLTPのHPから一般の方からも募集します。
- ・小学校5年生以上(中学生未満は親の同伴が必要です)

【参加費】

6月25日・7月1日…300円(保険・交流代金)
7月8日…100円(保険代金)

【集合場所】

東京モノレール「昭和島」駅東口前

【持ち物】

弁当、飲み物、帽子、双眼鏡・望遠鏡(お持ちの方は)

【申込み方法】

6/19(月)必着、メールまたは官製往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ご応募ください。

※電話でのお申込みは受け付けておりません。

E-mail: little-tern@freeml.com

住所: 〒154-0003 世田谷区野沢 4-21-22新田方
リトルターン・プロジェクト

コアジサシ観察日記

4月28日（金）今年初めてコアジサシを確認！

3羽のコアジサシが森ヶ崎の鼻干潟上空を旋回。さらに7羽が増えて、屋上営巣地方面をいったり、きたり。屋上に向かうと・・・”キリッ、キリッ”と1年ぶりに聞くコアジサシの鳴き声。営巣地にこだわっているようで、7羽の編隊はいつまでも去ろうとはしませんでした。いよいよ営巣が始まるのかな・・・？初夏のような陽気のなかで、1年ぶりの出会いは、感動的でありました。

シロチドリの偽傷(ぎしょう、注1参照)も見られました。コアジサシより営巣が早いので、近くに巣があるのでしょうか。

注1: 偽傷→巣が近くにある場合、外敵が近づくと、敵の目をそらすため、親が怪我をしているように見せる行動のこと。

4月29日（土）

20羽くらいの群れが、かなりの頻度で営巣地の上空を旋回し、様子をうかがっているようでした。降りるものはいませんが、かなり低空を飛ぶものや、飛びながら求愛行動をとるものもいて、今シーズンは営巣が早いのかなと感じました。

森ヶ崎の鼻干潟では120羽の群れが、大潮で露出した干潟周辺の海域で、ダイビングを繰り返していました。そのうちの数羽が屋上営巣地方面へいったりきたりしていました。

5月3日（水）

3日の営巣地は寒かったせいもあって閑散としていました。しかし10羽くらいの編隊が、上空をいったり、きたりという感じでした。シロチドリの数はけっこう多いです。途中、干潟にいたシギ、チドリがパラパラと入ってきました。潮が満ちてきたのでしょうか。

5月5日（金）

多摩川と海老取川が交差する近くで、400羽ほどのコアジサシを見ました。

5月4日（木）

営巣地上空に20羽くらい、森ヶ崎の鼻干潟に146羽くらいのコアジサシが飛来していました。

5月7日（日）デコイを設置①

風雨の中、千葉県の子孫中学校の生徒さん8名、先生1名、そしてバードカービングの内山春雄さんと約80体のコアジサシのデコイを設置しました。まもなく、上空を飛翔していた数羽がデコイの脇に着地！さらにスピーカーから鳴き声を流すと、続々と降りはじめ、みんなで感動のひとつときを過ごすことができました。

5月9日（火）デコイを設置②

水再生センターとLTPの講師が、地元の大森第一中学校で、水辺の歴史やコアジサシの保全活動についてのレクチャーを行いました。その後、屋上営巣地に移動して、生徒さん約100名と校長先生も一緒に300体のデコイを設置しました。



5月20日（土）今年も屋上でコアジサシが営巣！！

南風(はえ)が、荒れ狂った5月20日に今年初の営巣調査が行われました。営巣地全体を調査したところ、4巣、各1卵が見つかり、今シーズンの営巣記念日となりました。成鳥は100羽ほどが飛来しており、日没前後には300羽ほどがねぐらとして利用していました。



2006年 営巣地整備作業の報告

今年もコアジサシがやってきて無事に営巣をできるように、コアジサシの飛来する前の3月25、26日にボランティアの皆様と屋上営巣地の整備作業を行いました。作業の中心にすえたのは、今年も「雑草対策」と「捕食者対策」の2つでした。また、その後も森ヶ崎水再生センターやスタッフの手で作業も行ったので、併せて報告いたします。

雑草対策

2004年度のように営巣地に草が生え草原化してしまうとコアジサシが飛来しなくなってしまいます。これを防ぐため、旧営巣地の一部に残ってしまったスラッジライトの敷いてある部分の草むしりを行いました。昨年度は雑草を除去し終わった後に草が生えないようにビニールを敷く対策をしましたが、昨年度の観察により草むらが天然のシェルターとして機能していると考えられ、今年はいえ草むしり後そのままの状態にする対策をとることにしました。



こうすることで、コアジサシのやってくる時期は草の生えていない状態で、雛が生まれる頃には雛が隠れることのできる草むらが出来ることとなります。このような対策を取っても、草の生えやすい部分は少ないため2004年度のように営巣地全体が草原化することはないと考えています。

捕食者対策

捕食者対策としてはカラス、猫への対策のほかに昨年度の営巣地で初めて問題となったチョウゲンボウに対する対策も行いました。カラス対策としては、カラスが営巣地の周囲にとまりにくくするためのカラス除けの水糸を補修したり、昨年度設置できなかった部分に関して新しくカラス除けの設置をボランティアの皆様と行いました。猫対策には水再生センターの方を中心に猫除けフェンスの増設や、入場口に猫除け用の新たな仕掛けを設置しました。また、スタッフのみの作業の際に、昨年度チョウゲンボウがとまっていた場所を中心に鳥除けの設置を行いました。

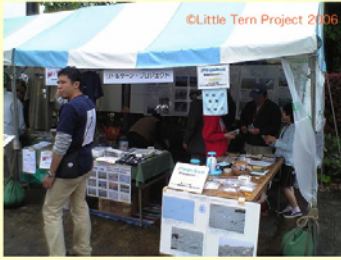


その他の作業

その他にも、営巣地をより良い状態にするために幾つかの作業を行いました。まずは、ブロックやレンガを利用した、コアジサシが日差しや捕食者から身を守るためのシェルターを増設しました。また、旧営巣地の周囲にある排水溝のゴミを取り除いたり、鉄くすなどの先端のとがった危険物を取り除いたりするなどの清掃作業を行いました。さらに、水再生センターによって、排水溝の蓋の設置、脱臭棟の屋上へフェンスとそこへ上るための階段の設置、屋上の外周へ軽自動車が走行可能な通路の整備などの営巣地を利用しやすくするための工事を行っていただきました。



東京バードフェスティバル2006



5月13・14日（土・日）に東京港野鳥公園で開催されました。私たちLTPの参加は今年で3回目となりましたが、これまでの営業地観察会、パネル展示と絵葉書、缶バッジの販売に加え、今年はできたの「LTPオリジナルTシャツ」の販売を始めました（注2）。土曜日は朝からあいにくの雨で、スタッフは観察会のフィールドスコープにビニールを被せたり、毎回バスで運ぶことになったりと雨対策で大変でした。日曜日は天気も回復し、各回とも満員となり、Tシャツ等の販売も伸びました。



今年は参加団体との交流会にも参加し、海外（台湾）の野鳥の会や、ボランティアの皆さん等、多くの人との交流ができました。参加したスタッフの皆様お疲れ様でした。（J.H.）

注2: Tシャツは観察会の際に販売いたします。

<LTP活動近況>

・現在、LTPのNPO法人化へむけて申請のための準備を行っています。
そのため、規約などを見直し中です。

・5月29日（月）に高円宮久子妃殿下が森ヶ崎水再生センターの営業地にお見えになりました。

・LTPオリジナルTシャツがついに完成！

以前から企画だけはあったLTPオリジナルTシャツがついに完成しました。今のところ、多くを作成していないため、イベントでの販売のみになります。 ↗

↑色は、オリーブとネイビーの2色。イラストは、オリーブがコアジサシのヒナ、ネイビーがコアジサシの親子となっています。サイズはL～150（※アメリカンサイズ）です。



◇ お問い合わせ先

住所：〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22増田方 リトルターン・プロジェクト
E-mail: littletern_pj@hotmail.com
Tel: 080-1173-7534 (受付時間・・・10:00～20:00)

◇ HP-URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>

◇ 発行 リトルターン・プロジェクト

◇ 編集 柴田英美

◇ イラスト・写真撮影 大塚豊・水越正幸・北村巨・柴田英美ほか